

一般社団法人 岩の力学連合会  
平成 25 年度・第 2 回理事会

議事録

|    |                               |    |              |
|----|-------------------------------|----|--------------|
| 日時 | 平成 25 年 10 月 24 日 14:00~17:00 | 場所 | (公社)地盤工学会会議室 |
|----|-------------------------------|----|--------------|

|      |                  |                |   |      |                 |     |        |                   |   |
|------|------------------|----------------|---|------|-----------------|-----|--------|-------------------|---|
| 理事会  | 理事長              | 尾原 祐三          | ○ | 理事   | 山口 勉            | ○   | 理事     | 石田 毅              | × |
|      | 副理事長             | 福井 勝則          | ○ | 理事   | 伊藤 高敏           | ○   | 理事     | 笹尾 春夫             | ○ |
|      | 幹事長              | 坂口 清敏          | ○ | 理事   | 蔣 宇静            | ×   | 理事     | 森本 和久             | ○ |
|      | 理事               | 京谷 孝史          | ○ | 理事   | 青木 智幸           | ○   | 理事     | 風間 優              | × |
|      | 理事               | 鈴木 健一郎         | × | 理事   | 藍檀 オメル          | ○   | 理事     | 中山 範一             | ○ |
|      | 理事               | 山口 嘉一          | × | 理事   | 谷 和夫            | ○   | 理事     | 岸田 潔              | × |
|      | ISRM VP at Large | 大西 有三          | ○ |      |                 |     |        |                   |   |
|      | 監事               | 福田 直利          | × | 監事   | 細野 高康           | ○   |        |                   |   |
|      | 組織団体             | 公益社団法人<br>土木学会 |   | 組織団体 | 公益社団法人<br>地盤工学会 |     | 組織団体   | 一般社団法人<br>資源・素材学会 |   |
| 組織団体 | 公益社団法人<br>日本材料学会 |                |   |      |                 | 事務局 | 富田 明日香 | ○                 |   |

敬称略順不同, ○ : 出席, × : 欠席, ● : Web 出席

配 付 資 料

| 資料番号       | 資 料  |
|------------|--|
| 資料 25-2-1  | 平成 25 年度臨時理事会議事録   |
| 資料 25-2-2  | 平成 25 年度第 2 回常任理事会議事録 (案)                                    |
| 資料 25-2-3  | 会員の入退会   |
| 資料 25-2-4  | 一般社団法人 岩の力学連合会定款   |
| 資料 25-2-5  | 第 12 回国際岩の力学会議 (北京) 論文募集要領 (案) H22 年度                        |
| 資料 25-2-6  | 平成 14 年度将来構想検討特別委員会の開催記録および委員構成                              |
| 資料 25-2-7  | 平成 25 年度更生予算 (案)   |
| 資料 25-2-8  | 編集委員会の報告   |
| 資料 25-2-9  | 国際技術委員会 平成 25 年度委員会・議事録                                      |
| 資料 25-2-10 | 電子ジャーナル委員会の報告  |
| 資料 25-2-11 | RockNet 委員会  |
| 資料 25-2-12 | 賞選考委員会報告   |
| 資料 25-2-13 | 論文賞, 技術賞, フロンティア賞の選考等に関する細則                                  |
| 資料 25-2-14 | ARMS8 組織委員会  |
| 資料 25-2-15 | 50 周年記念事業委員会 活動報告  |
| 資料 25-2-16 | RS2013 参加者数報告  |
| 資料 25-2-17 | 岩の力学連合会旅費規程 (案)  |
| 資料 25-2-18 | 地盤工学会の旅費規程の改定について  |
| 資料 25-2-19 | 理事会規則 (素案)   |
| 資料 25-2-20 | 第 1 回岩石力学・岩盤工学に関する若手研究者会議 (案)                                |
| 資料 25-2-21 | ISRM Council Meeting News Release Wroclaw, 22 September 2013 |
| 資料 25-2-22 | Asian Council Meeting, 22 September 2013                     |
| 資料 25-2-23 | MINUTES OF THE COMMISSION'S 2013 ANNUAL MEETING              |

## [1] 理事長挨拶

尾原理事長より挨拶があった。

## [2] 議 題

### 1. 議事録の確認

#### 1) 平成 25 年度臨時理事会議事録

中山範一理事が出席となっているが欠席なので修正。

#### 2) 平成 25 年度第 2 回常任理事会議事録（案）

表題が「臨時理事会 議事録」となっているので「常任理事会 議事録」に修正  
「6.その他」を「7.その他」に修正。

### 2. 会員の入退会

資料 25-2-3 を用いて現状の入退会状況の説明がなされ、原案通り承認された。

### 3. Proposal for Asian Rock Mechanics Activation Initiative（大西先生）

大西 VP at Large of ISRM から、資料 25-2-22 の一部(pp.78)も用いて、アジアにおける災害マップ作製と災害事例の収集に基づくデータベース構築に向けての活動状況等について説明があった。説明の概要は以下の通りである。

- 1) 本件については、VP Zhou をはじめ、韓国 NG，中国 NG から協力への承諾を得ている。
- 2) 日本では、数人のメンバーによる WG が組織され、本活動をサポートしている。

大西 VP の報告を受けて、以下 3)~5)の要望と提案が出され承認された。

3) ARMS8 で Workshop を開催するなどして議論を深める。

4) JCRM としては、これまでの動きを把握できていないので、昨年までの活動に関して資料を送ってもらいたい。その上で、JCRM としてのサポート体制を確立したい。

5) JCRM のサポート体制としては、国際技術委員会が中心になって、具体的なサポート体制のあり方について検討する。必要があれば、予算措置も考慮する。

### 4. 連合会の名称変更について（定款の改正，付随する規則の改正）（資料 25-2-4）

尾原理事長より、本連合会の名称変更について提案があった。提案理由は、本連合会が、日本学術会議協力学術研究団体の指定を受けたことにより、所謂、学会として認知されたことに対応するためである。加えて、英文名に使われている「Committee」は、現状の活動内容と照らしてもそぐわず、対外的にも、その解釈、イメージにおいて不都合が生じていることにある。提案された名称は、英文の「Committee」を「Society」にするである。一方、和文名については、必ずしも変更の必要はないかもしれないが、変更するとすれば「連合会」を「学会」にする案などが提案された。理事会では、名称変更を行う場合は、①英文名の変更、②和文名の変更の順に段階的に行う方が良いとの共通認識で一致した。しかし、本理事会で結論を出す前に、構成 4 団体（4 学会）の意見も聞くべきであるとの判断で、各団体に持ち帰って、意見の集約をすることとなった。

### 5. 特別委員会の設置について

#### 1) ISRM コングレス(2015.5.10-13)論文選考委員会（資料 25-2-5）

電子ジャーナル委員会が中心となり、その下部に WG を作って対応することにした。

2) 将来構想委員会（資料 25-2-6）

尾原理事長より、連合会の今後 10 年を見据えた成長戦略の策定を提案する当該委員会発足の提案があり了承された。委員長および委員の構成については、理事長一任（委員については委員長の意見も反映）を了承した。

6. 平成 25 年度更正予算について

資料 25-2-7 を用いて、平成 25 年度更正予算の説明があり、了承された。なお、「更生」との表記部分があるので「更正」への修正が求められた。

連合会賞受賞者への賞金(50,000 円)については、今年度は授与するが、次年度以降は廃止することを改めて確認した。なお、これの代替措置として、授与する楯については、現状のものよりも良いものを授与する方向で検討してはどうかとの提案が青木理事からあった。

7. 委員会からの審議・報告事項

1) 編集委員会

資料 25-2-8 を用いて説明があり、了承された。

2) 国際技術委員会

資料 25-2-9 を用いて説明があり、以下に記載する点について議論し、了承された。

①地盤工学会においてこれまでに英文化されている国内基準については JCRM の HP 上で公開する方向で検討を進める。

②ARMS8 に関して、投稿原稿の査読委員の推薦については、福井副理事長が人数割り振りも含めて取り仕切る。

また、ISRM が ISO のメンバーになった（ハドソン会員、ウルザイ会員が ISO の委員に就任）との報告があった。

3) 電子ジャーナル委員会

資料 25-2-10 を用いて説明があり、了承された。

4) RockNet 委員会

資料 25-2-11 を用いて説明があり、了承された。

常任理事の中から以下の要望が出され、対応を求めた。

① ISRM の会員サービス（One Petro など）を受けるための ID、やパスワードを忘れた会員へのケアが必要。

②HP 上で賛助会員名簿の更新ができていない（英文も含めて）ので、対応を求める。

5) 連合会賞選考委員会

資料 25-2-12 および資料 25-2-13 を用いて説明があり、了承された。

6) 総務委員会

審議・報告事項無し。

7) ARMS8 組織委員会

資料 25-2-14 を用いて説明があり、了承された。

8) 50 周年記念事業実行委員会

資料 25-2-15 を用いて説明があり、了承された。

記念式典については実施する方向で検討・準備を進めていくことを確認した。

歴代理事長からの寄稿の部分において、歴代理事長は全員が名誉会員になっているのかとの議論になったが、名誉会員の名簿も存在しないので、確認できなかった。名簿に

については、今後整備が必要との認識で一致した。

9) 第6回地殻応力国際会議組織委員会

資料 25-2-16 を用いて説明があり、了承された。

8. 規則・細則の審議

1) 旅費規程について

資料 25-2-17 を用いて施行に向けて準備中であると説明があった。

また、富田事務員より、資料 25-2-18 を用いて地盤工学会の旅費規程の改定（9月から実施）について説明があった。当連合会は現時点で旅費規程を持っておらず、これまで地盤工学会の旅費規程に基づいて旅費の支給を行っていたが、この改定に対してどのような対応をするかについて議論をした。その結果、**当連合会も当面は当該改定案に従うこととし、その実施開始日は平成 26 年 1 月 1 日からとした。**

主な改定内容は以下の通り。

- ①日当(1,300 円)の支給取りやめ。
- ②宿泊費は実費精算とする（ただし、上限 9,000 円）
- ③交通費は実費精算とする。

2) 理事会・常任理事会規則について

資料 25-2-19 を用いて施行に向けて準備中であるとの説明があった。

9. 若手研究者会議（案）について

資料 25-2-20 を用いて説明があり、連合会として支援することが了承された。ただし、収支案について、支出に懇親会費（6,000 円）が計上されているにもかかわらず、収入にその項目が無いのはおかしいとの判断により、以下のように修正するよう指示することとした。

- 1) 提出された収支案で参加料が 10,000 円となっているので、これを参加料 4,000 円と懇親会費 6,000 円に分けて記載する。

10. 名誉会員の推薦について

尾原理事長より、清水前理事長を名誉会員に推挙したいとの提案があり、了承された。

11. その他

審議事項無し。

**[3] 報告事項**

1. ISRM 関連

- 1) Council Meeting 報告：資料 25-2-21 を用いて報告があった。
- 2) Asian Council Meeting 報告：資料 25-2-22 を用いて報告があった。
- 3) Testing Method 委員会報告：資料 25-2-23 を用いて報告があった。

2. その他

平成 25 年 12 月末までに、各委員会は次年度事業案および予算案を提出する。  
平成 26 年 1 月に第 3 回常任理事会を開催する。  
平成 26 年 3 月に第 3 回理事会を開催する。